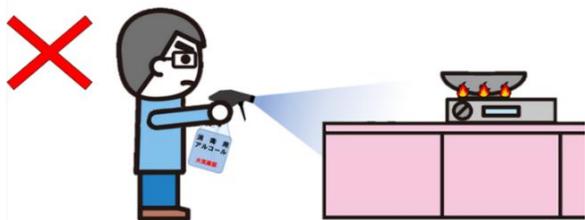


消毒用アルコールの安全な取扱いについて

消毒用アルコールは、引火しやすく、発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところに溜まりやすいため、次のことに注意して取り扱うようにしてください。

火気の近くで使用しない。



詰め替える場合は、容器に「消毒用アルコール」、「火気厳禁」などの注意事項を記載する。



設置や保管は、直射日光を避ける。



室内の消毒や容器の詰め替えなどは、風通しをよくして行う。



【事件事例】

・アルコール消毒をした直後、タバコを吸おうとしたところ、ライターの花が手についたアルコールに引火し炎が発生しヤケドを負った。

・屋外でアルコール消毒した直後、がん具用花火を扱ったところ引火した。

※車の中に消毒用アルコールを放置すると、気温が高い日などは車内温度が上昇し容器の破裂や火災の危険がありますので注意しましょう。

ジリジリ

メラメラ～

メラメラ～

火事には
気を付けよう！

キケン！火災注意！

消毒用アルコールの車内放置はゼツタイダメ！